



防犯ボランティアによる青色防犯パトロール活動(東広島)



施策の展開

第1節 安全安心なまちづくり

- ① “意識づくり”
- ② “地域づくり”
- ③ “環境づくり”

第2節 安全安心をもたらす警察活動

“警察活動の強化”

施策の展開

第1節 安全安心なまちづくり

① “意識づくり” ～一人一人の「犯罪抵抗力」を育む対策～

取組の方向

県民一人一人の防犯意識と規範意識を高め、県民自らが危険を察知し回避できる「犯罪抵抗力」の向上を図ります。

- 安全で安心なまちづくりのためには、県民一人一人が“自らの安全は自ら守る”という自主防犯意識を高めるとともに、日常生活におけるモラルやルールを互いに尊重する規範意識を育てることが重要です。
- 広く普及したスマートフォン・SNS*等の影響により、今後もインターネット上でのトラブルや犯罪被害が増加すると予測されることから、それらを未然に防ぐため、子供から高齢者まで幅広い層のインターネット利用者に対して、サイバーセキュリティの意識を高める取組が必要です。
- 防犯への取組の必要性が広く県民に理解されるよう、積極的な広報啓発活動を進めるとともに、犯罪情報や防犯対策に関する情報を提供し、防犯講習会等を開催するなど、安全安心なまちづくりへの関心と理解を深めるための取組を進めます。

主要な取組

(1) 犯罪情報等の発信・共有

■ 多様な広報媒体を活用したタイムリーな情報発信

より多くの県民に必要な情報が適時適切に伝達されるよう、チラシや広報誌を始め、テレビ、ラジオ、メールマガジン、SNS*など幅広い広報媒体を活用し、地域の犯罪・防犯に関する情報発信を行います。



■ 市町、町内会等と連携した情報発信

市町、町内会、学校、事業者など地域における関係機関・団体との連携強化とネットワーク化を推進し、地域や職域に応じたきめ細かな情報発信活動を進めます。

(2) 自主防犯意識の啓発

■効果的な啓発活動の実施

地域の犯罪発生状況に応じた防犯関係のイベントや街頭啓発活動を実施するとともに、交通安全運動等の関係機関・団体と連携した啓発活動に努めるなど、効果的な防犯キャンペーン活動等を積極的に推進し、県民の自主防犯意識の啓発を図ります。

■参加・体験型の防犯講習会等の開催

防犯機器の紹介や犯罪手口の実演等により、参加者に分かりやすく、安全安心に対する意識と具体的な防犯行動が身に付く、参加・体験型の防犯講習会や防犯訓練を実施します。



■インターネット利用における防犯意識の向上

日々進化するインターネット環境における各種取組を効果的なものとするため、大手通信事業者と連携したネット犯罪防止教室を実施します。

また、子供のインターネットの利用に起因した犯罪被害や非行を防止するため、学校、家庭、ボランティア、関係機関・団体等と連携し、非行防止教室や保護者説明会等のあらゆる機会を捉えて、インターネットの適切な利用及びスマートフォン等のフィルタリング*の普及促進のための啓発を行います。

(3) 規範意識の向上

■家庭・学校における健全な規範意識の育成

子育てやしつけに悩みを抱く保護者等の相談に適切に対応し、家庭の教育力の向上を支援します。

また、家庭・学校・地域が連携・協力して豊かな心を育てる道徳教育を進め、社会生活におけるマナーとルールを守る意識の醸成を図ります。



■学校・地域における青少年健全育成の促進

非行防止パトロールや非行防止教室、薬物乱用防止教室の開催などを通じて、学校、地域団体、警察等が連携しながら、青少年の規範意識の醸成と非行防止を進め、青少年の健全育成を図ります。

■被害者も加害者も出さないまちづくりに向けた気運の醸成

「社会全体で被害者を支えるとともに、被害者も加害者も出さないまちづくり」の実現に向け、犯罪被害者が受けた心身の痛みや命の大切さ及び犯罪被害者への支援の必要性などに関する広報・啓発活動を行い、規範意識の向上を図ります。